

2021年8月15日

戦後76年の終戦の日にあたって(談話)

国民民主党代表 玉木雄一郎

本日、76回目の終戦記念日を迎えました。

先の大戦では多くの方が戦場で非命に倒れ、一般国民も原爆、空襲、沖縄戦などの戦禍に巻き込まれ尊い命を落とされました。終戦後も、異国での抑留や、原爆や傷病の後遺症でたくさんの尊い命が失われました。ここに、全ての戦争犠牲者の方々に衷心より哀悼の誠を捧げます。

また、戦後76年が経ち、戦争被害者が高齢化する中、今なお心身の障がいに悩まされる方が大勢います。空襲被害者の救済など、長年にわたり置き去りにされてきた課題を速やかに解決するために、あらゆる努力を重ねて参ります。

今日、私たちが享受している平和と繁栄は、戦没者の皆さまの尊い犠牲、戦後の辛苦に耐え復興の道を歩んでこられた先人の努力の上に築かれたものであります。こうした先人たちへの敬意と感謝を決して忘れず、戦争の惨禍の教訓と恒久平和の願いを風化させることなく、次の世代へと語り継ぐとともに、不戦の誓いを新たに、平和で豊かな日本を維持・発展させて参ります。

現在も国家間の戦争だけでなく、テロ等の新たな脅威が世界中で出現しています。国民民主党は綱領において立憲主義と国民主権・基本的人権・平和主義を断固として守る立場を明確にしていますが、戦後76年の終戦記念日にあたり、日本と国際社会の平和と安定に全力を尽くしていくことを国民の皆さまにお誓い致します。